



社会福祉法人緑野会
みどりの保育園 「みどりの編集委員会」
〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-57-2
TEL.042-375-0117 FAX.042-375-7722
mail tama-midorino@nifty.com
URL <http://midorinohoikuen.kids.coocan.jp/>
2026年3月発行

1ねんせいのみんなげんきですか？

そつえんしてからもうすぐ1ねんがたちますね。

おともだちとたのしくすごしているのかな？おべんきょうもがんばっているのかな？

がんばりやでなにごとにもちょうせんしていたすがたをおもいだし、

みんなのことだからきっとだいじょうぶだとしんじています。

こんどほいくえんにあそびにきてたくさんおはなしをきかせてね！まっています！



みどりの^{ほいくえん}保育園 ^{れいわ ねんど}令和6年度きみどりぐみ^{たんじん}担任 ^{きくろ みあ}菊池 未央

1ねんせいのみんな、げんきですか？

ことしのきみどりぐみももうすぐそつえんのひをむかえようとしています。

いちねんまえはみんなもほいくえんでおにごっこをしたり、

みんなでおさんぽにいたりしてたんだなとおもうと、とてもなつかしいきもちになります。

もうすぐ2ねんせいですね。こんどほいくえんにあそびにきたときに

みんなのおはなしをたくさんきかせてね。たのしみにまっています。



みどりの^{ほいくえん}保育園 ^{れいわ ねんど}令和6年度きみどりぐみ^{たんじん}担任 ^{しばいすみ もえこ}柴泉 萌衣子

卒園生のみなさんへ



卒園生のみなさんへ

卒園生のみなさんお元気ですか？

園庭の桜も(老木です)花を咲かせる季節となりました。卒園生のみなさんも進学や就職、ご家庭や職場等々それぞれの新しい春を迎えていることと思います。うれしいことも、そうでないこともあるのが“生きる”ことだとすると、かわらずに巡ってくる春は、人生の中の扉のひとつなのかもしれません(最近(さいきん)は年(とし)のせいなのかそんなことも感じています)

今年(ことし)も25名の卒園生(そつえんせい)を無事(むじ)に送り出すことができました。子どもたち一人ひとりが逞しく人生(じんせい)を歩んでほしいなと思います。今年(ことし)卒園(そつえん)した子どもたちも、少し前(すこしまえ)に卒園(そつえん)した子どもたちも、だいぶ前(まへ)に卒園(そつえん)した方(かた)たちもみんな「みどりの宝物(たからもの)」です。時々(ときどき)は顔(かお)を見せにきてくださいね。新旧(しんきゅう)職員(しやくいん)が揃(そろ)っているのがみどりのいいところ、お待ち(まち)しています。

令和8年3月(れいわねんがつ) みどりの保育園(ほいくえん) 園長(えんちやう) 山口(やまぐち) 明白子(あすこ)

卒園生のみなさんへ



卒園生のみなさんへ

みなさん。こんにちは。お元気ですか？

みどりの保育園(ほいくえん)では3年前(ねんまえ)から秋(あき)に連光寺(れんこうじ)コミュニティ会館(かいかん)で行(おこな)われる『連光寺(れんこうじ)秋(あき)まつり』に参加(さんか)しています。今年度(ことねんど)は豚汁(とんじゆ)・ソフトドリンク・コーヒーのお店(みせ)を出(だ)しました。来年度(らいねんど)はどんなお店(みせ)を出(だ)店(しゆつてん)しようか職員(しやくいん)で考(かんが)え中(ちゆう)です。地域(ちゆうき)向け(むけ)の催(もよお)しものなので卒園生(そつえんせい)のみなさん(みなさん)もぜひ(ぜひ)来て(き)てください。会(あ)えるのを楽(たの)しみにして(して)います。

話(はな)しは変(か)わりますが、多摩市(たまし)保育協(ほいくきやうぎ)議(ぎ)会(かい)と島田療育(しまだりやういく)センタ(せんた)ーで行(おこな)っている『ハンディキャッ(ハンディキャッ)プ研(けん)修(しゆ)』に3年間(ねんかん)参(さん)加(か)しました。作業療(さきやうりやうほうし)法(ぽう)士(し)・言語聴(げんごちやうかくし)覚(かく)士(し)・公認(こうにん)心(しん)理(り)師(し)の先(せん)生(せい)から『子(こ)の目(め)立(た)て・手(て)立(た)て・発(はつ)達(たつ)を促(うなが)す遊(あそ)び・関(かん)わり方(かた)』など事(じ)例(れい)検(けん)討(たう)を中(ちゆう)心(しん)に学(まな)びました。多摩市(たまし)内(ない)の保(ほ)育(いく)園(えん)職(しやく)員(いん)と(と)のグ(ぐ)ル(る)ー(う)プ(ぷ)検(けん)討(たう)会(かい)も多(おほ)く、様(さま)々(ざ)な意(い)見(けん)や感(かん)想(さう)をき(き)くなか(なか)で新(あら)たな発(はつ)見(けん)や学(まな)びがあ(あ)りました。『子(こ)ども、保(ほ)護(ご)者(しや)のた(た)め(め)に何(なに)がで(で)きるの(の)か。』を志(こころざ)し高(たか)い先(せん)生(せい)方(かた)・他(た)園(えん)の職(しやく)員(いん)と話(はな)し、私(わたし)自(じ)身(しん)の意(い)識(し)もさ(さ)ら(ら)に高(たか)ま(ま)り(り)ました。今(こん)回(かい)の学(まな)びと志(こころざ)しを園(えん)内(ない)の職(しやく)員(いん)にも伝(つた)え、よ(よ)りよ(よ)い保(ほ)育(いく)が保(ほ)育(いく)園(えん)全(ぜん)体(たい)で展(てん)開(かい)で(で)きるよ(よ)うに職(しやく)員(いん)と一(いっ)緒(しょ)に考(かんが)え(え)てい(い)き(き)たい(たい)と思(おも)う研(けん)修(しゆ)で(で)した。

PS:『インスタ(いんすと)グラム(らむ)』フォ(ふ)ロ(ろ)ー(う)ー1000人(にん)突(とつ)破(ぱ)し(し)ました(した)!フォ(ふ)ロ(ろ)ーあ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)ご(ご)ざ(ざ)いま(いま)す。保(ほ)育(いく)園(えん)の様(よう)子(す)をア(あ)ッ(っ)プ(ぷ)して(して)いま(いま)すので(ので)ぜひ(ぜひ)ご(ご)覧(らん)に(に)な(な)って(て)くだ(くだ)さい!

令和8年3月(れいわねんがつ) みどりの保育園(ほいくえん) 主任保(しゆにんほいく)育(いく)士(し) 山(やま)岡(おか) 丈(たけ)真(ま)

ねんせい 6年生へ

そつぎょうせい
卒業生へ

ご卒業おめでとうございます。ついこの間 保育園を卒園していったような気がするけれど、もうすぐ中学生になるんだね！去年の11月に6年生のイベントで会った時すっかり大きくなって驚いたけど、笑った顔やおしゃべりする顔があ那时的ままでとても安心しました。イベントで会えなかった子も制服姿をぜひぜひ見せに来てね！待ってるよ！

ねんせい そつぎょうせい じたんじん きくち みあ
6年生の卒園時担任 菊池 未央

ほいくかんきょうひょうか 保育園環境評価スケール

みどりの保育園では、保育の質を向上させるために『新・保育園環境評価スケール』というテキストを見ながら日々保育を見直すようにしています。園内研修「環境評価スケール」という場を設け、職員全員で話し合いをしながら取り組んでいます。今年度の取り組みとしては大きく分けて2つあります。1つ目は、各クラスでその都度気になる課題を見つけ、テキストを見ながら当てはまる項目を改善していくということです。日々の中で「今このようなおもちゃ（掲示物）が少ないな…」「最近子どもとの会話ができる製作をしていないな…」等実際クラスにいる保育者（主にクラス担任）が、ふと思う小さな疑問を上げてテキストを見ながら項目を確認し、改善していきます。また、その改善したものをパワーポイントを使ってドキュメンテーションのようにまとめ、各クラスに回覧しています。回覧することで、職員同士も他クラスのようすを知ることができます。2つ目は、『新・保育園環境評価スケール』に沿って実際に評価していく機会を作るということです。今年度はあかぐみ（2歳児）2回、きみどりぐみ（5歳児）1回、合計3回実施しました。実際に評価してもらい評価会を行なうことで、客観的に保育を見直すことができます。良い環境や関わりは引き続き続けていく、改善（工夫）すべき環境や関わりは意識をして見直ししていくことができるようになります。評価には他クラスの職員だけでなく、同じ法人内の関戸みどりの保育園の職員や多摩市内の他園の職員の方にも来てもらい、評価に入ってもらいました。みどりの保育園内の意見だけでは、“いつものこと”“普通”と思っていたことでも他園の職員の方から見ると、“ん？”と疑問に思う点があるようです。このような疑問点を率直な意見として出してもらい、それを聞いた上で今後さらに良い保育をしていく為にはどうしたらいいか…？を考えるきっかけを与えてくれる機会になりました。しかし、悪い点ばかりではありません。普段何気なくやっていることでも他園の職員の方からすると「すごくいいと思う。自園でも取り入れたい！」と言って頂けることもあり、みどりの保育園の良さを再確認することができ自信につながります。これからひとりひとりの気持ちや個々に合わせた活動を大切にしながら、日々の保育の向上に努めていきたいと思えます。

ほいくかんきょうひょうか
保育園環境評価スケール リーダー 小黒 実里



れんこうじがくどう たよ 連光寺学童クラブ便り



れんこうじしょうがくどう れんこうじしょうほうかごこ きょうしつ 連光寺小学童クラブ・連光寺小放課後子ども教室

連光寺小学童クラブは、多摩市から運営受託を受けて11年目となりました。放課後子ども教室は、2023年10月に受託し、2年半が経過しようとしています。みどりの保育園を卒園した子どもたちが、連光寺小学校に来て、学童クラブや放課後子ども教室を利用することも多くあります。0歳児から保育園に入園した場合、小学校を卒業するまで12年間、子どもたちの育ちを緑野会として継続して見守っていただけることはとても嬉しいことです。小学校を卒業したあとも遊びに来てくれたり、近隣で会った時には声をかけてくれたり、その後の成長した姿をみることも喜びの一つとなっています。連光寺小学童クラブは定員が90名で1年生から4年生までが在籍しています。学童クラブでは放課後子ども教室は300名ほどの登録があり、1日あたり30名ほどの利用があります。ICT化が進みスマホやタブレット、通信機能のあるゲーム機などに触れる子どもも多くなった現代ではありますが、学童クラブや放課後子ども教室には電子機器はありません。子どもたちは、空き箱や様々な素材を使っての工作、マンカラや4目並べ、けん玉、かるた、外では大縄跳びや鬼ごっこ、トカゲやサワガニなどの生き物探しなどをして遊んでいます。また、今年度は子どもたちの遊びに大きく変化がありました。デジタル機器から得た情報を学童クラブや放課後子ども教室に取り入れ、応用し、工夫して遊ぶ姿がとても増えたことです。ゲームやアニメのキャラクターを折り紙や空き箱、綿やテープなどで再現し、作ったものでごっこ遊びをしたり、YouTubeを観て知った遊びを、友だちを誘ってやってみたりしています。電子機器がなくても、アナログな遊びの良さを最大限に生かし、自分たちで考えて楽しみを作っていく子どもたちの姿を見ていると我々職員も子どもたちの力になるべく、大切なことを見定めながら日々過ごしていかなければいけないと改めて感じます。

卒園生や保護者の皆様も近くを通りかかった時には是非お立ち寄りください。

れんこうじしょうがくどう きくち やまなり
連光寺小学童クラブ 菊池 康成

ひじりがおかがくどう 聖ヶ丘学童クラブのこの一年

2025年度を振り返って

毎年一年が過ぎるのが早く感じられます。その分、子どもたちの成長がどんどん見られるのがうれしくもあります。先日、聖ヶ丘小学校の卒業式に参加しました。子どもたちが堂々と卒業式に臨む姿は感動的で、本当に大きくなってきたなと嬉しくなりました。

さて、緑野会が聖ヶ丘学童クラブの委託を受けてから丸7年が過ぎようとしています。コロナは落ち着きましたが、他のいろいろな感染症が流行して、一年を通して感染拡大防止に工夫しながらの育成が続けています。

今年の夏も暑かったですね。夏休み中は、高温で外に出られない日が多かったです。室内でも楽しめる遊びを探しながら過ごしていました。その中で、今年は塗り絵がすごい盛り上がりを見せていました。そこで、「この夏、最高の一枚」と題して塗り絵コンクールを開きました。好きな塗り絵を好きな色で、自分なりにアレンジを加えて仕上げ、壁に張り出しました。職員も参加して渾身の一枚を仕上げました。どれが一番好きかを投票してもらい、各学年と大人の部で優勝を決めました。「え～優勝するつもりなかったのに～」と言いながら優勝メダルをかけてもらうとニヤニヤ顔になっていたのが印象的でした。

秋になると、3年生を中心にハロウィンが大きな話題となりました。そこで3年生に聞いてみると「お化け屋敷やりたい」という思いがみんなからあふれていたため、企画から子どもと一緒に考えていきました。お化け役の子どもたちはやる気十分で、やり過ぎないか心配しました。でも一年生が来ると優しく案内してくれたので泣く子が少なく、みんなが楽しめるお化け屋敷ができました。3年生といえは、節分でも大活躍でした。節分が近づくにつれて「怖い」と話が始まり、「でも脅かすほうならやりたい」という話になり、「じゃあ、みんなで鬼になろう」ということになりました。当日はかわいい鬼がいっぱい出てきて1・2年生に上手にやっつけられていました。親分鬼が出てきて一斉に退散する時の逃げ方も上手でした。

このように、今年はイベントを固定してやるのではなく、子どもたちの遊びや会話など、生活の姿を見ながら、やる気に応じて「子どもたちが楽しめるもの」を考えて決めていきました。どのイベントも、自分たちが楽しむだけでなく、みんなで楽しもうと考えてやってくれたことがうれしかったです。来年も、子どもたちの生活や遊びの中から、その時に楽しめるものを子どもたちが中心となって、イベントを考えていきたいと思います。

これからも、子どもにも大人にも居心地の良い、ホッとできる学童クラブでいられるように努力していきたいと思えます。

ひじりがおかがくどう 聖ヶ丘学童クラブ 小林 勉



つちだ わかこ おうえん
土田 和歌子さん 応援しています。

とうきょう とうきょう
東京レガシーハーフマラソン 2025・東京マラソン など

たくさん かつやく
沢山の活躍をされているようです。

へんしゅうこうき 編集後記

こんねんど おおさか かんさいばんぱく かいさい いっぱんらいじょうしやう するいけい まんにん とっぱ おお ち
今年度は、大阪・関西万博が開催され、一般来場者数が累計2500万人を突破するなど、大きな盛り
あがりを見せました。この会報誌をご覧になっている方の中にも、訪れた方がいらっしゃるのではない
でしょうか？

そんな今年度のみどりの保育園では、先日無事にきみどりぐみ 25名揃って卒園式を迎えることがで
きました。抱っこで午睡をしていたのがつい昨日のこのようですが、堂々と卒園証書を受け取る子
もたちを見て、嬉しいような寂しいような気持ちになりました。毎年1年間の子もたちの成長を
保護者の皆様と共有することができ、職員一同嬉しく思っています。保護者の皆様のご理解・ご協
力があってこそだと思っています。深く感謝申し上げます。

会報誌『みどりの』へのご意見、ご感想、また「こんな載せてほしい」などがありましたら、是非
保育園までメールをお願い致します。では、また次号でお会いしましょう！

こうへんしゅういん やまもと
みどりの30号編集委員 山本